

平成 28 年度 廿日市商工会議所経営発達支援計画報告

I はじめに

廿日市商工会議所では、平成 28 年 4 月 22 日、経済産業大臣より経営発達支援計画の認定を受けました。この計画は平成 28 年 4 月から平成 31 年 3 月までの 3 年間にわたり、小規模事業者の事業の持続的発展に向けて、事業計画作成及び実行支援、販路開拓等を通して伴走型支援を行うためのものです。

本年度採択を受けたのち、本計画に基づき実施しました。

平成 28 年度の報告をさせていただきます。

II 事業実施期間

平成 28 年 4 月 22 日～平成 29 年 3 月 31 日

III 本年度事業実施概要

本年度は、4 月 22 日計画採択後、年間を通して下記の通り、経済動向調査から職員資質の向上に至るまで予定通り計画を実行した。

【各事業の取組時期】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
経済動向調査				→			→		→		→	
経営状況の分析			→									
事業計画策定支援							→					
計画策定後の支援												
需要動向調査						→						
需要開拓				→			→					
支援ノウハウの情報交換							→					
資質向上への取組						→						

P D C A 評価	目標達成度
達成度 100%以上	A
達成度 80%以上 100%未満	B
達成度 30%以上 80%未満	C
達成度 30%未満	D

IV 経営発達支援事業の実施内容

1. 地域経済動向調査

(1) 目的

地域の経済動向を各種統計データや地域内の小規模事業者に対するヒアリングを基にして分析を行い、経営計画策定における基礎データとして活用するために、巡回訪問や個別相談会、またホームページなどで周知していく。

(2) 実施した内容

本調査においては、日本商工会議所の LOBO 調査を毎月、広島県商工会議所連合会の広島県景気観測調査を四半期に 1 回、当商工会議所の廿日市市景況調査を四半期に 1 回実施し、その結果をもとに「廿日市市経済動向調査報告」をまとめ、ホームページに公開した。

なお、報告の取りまとめにあたっては、上記の調査報告だけでなく、ハローワーク廿日市の求人情報、広島県鉱工業活動調査、廿日市市新設住宅着戸件数、中小企業白書、消費者庁の物価モニター調査、日経トレンディ、市場評価ナビ MieNa、内閣府景気ウォッチャー調査なども活用し、多方面からの情報を盛り込み提供した。

(3) 目標及び実績

	H28 目標	H28 実績	H28 評価	H29 目標	備考
LOBO 調査	12 回	12 回	A	12 回	月 1 回の実施を行った
広島県景気観測調査	4 回	4 回	A	4 回	4 半期に 1 回の実施を行った
廿日市市景況調査	4 回	4 回	A	4 回	〃
廿日市経済動向調査報告	4 回	4 回	A	4 回	ホームページで公開し年 4 回更新

2. 経営状況の分析に関すること

(1) 目的

小規模事業者は、自社の分析・経営状況の把握などが苦手で「成り行き経営」による経営が多く見られる。この経営発達支援事業においては自社の経営資源は何であるか、何によって自社が顧客より支持されてきたのかを明確にすることを大きな目的とする。

(2) 実施した内容

目的を持った巡回訪問を行うことで、会員事業所の現場を確認し現状の確認や課題の抽出のための情報を入手した。また、窓口相談においてはローカルベンチマーク等の指標を活用し、財務分析を実施「収益性」「安全性」「生産性」の分析を行った。

また、会員事業所のデータ更新調査を全事業所に対して行った。

(3) 目標および実績

	H28 目標	H28 実績	H28 評価	H29 目標	備考
巡回訪問件数	100 件	87 件	B	150 件	経営巡回相談
窓口相談による分析件数	65 件	57 件	B	80 件	金融相談と併せ経営分析
データベース更新	65 件	77 件	A	80 件	事業計画策定支援 36 者 マル経推薦件数 41 者
広報発行件数	4 回	4 回	A	4 回	商工はつかいちに掲載・チラシ同封

3. 事業計画策定支援に関すること

(1) 目的

地域内の経済動向調査結果を提供し、個社の経営状況分析が整うことで、経営計画策定に関する準備は可能となる。そこから先の経営課題を抽出し、目標実現に向けた事業計画書の策定により、小規模事業者の持続的発展を支援する。このことにより、小規模事業者は従来の「成り行き経営」ではなく、経営計画に基づいた目標を持った経営に取り組むことが可能となり、結果として競争力の強化へと繋がる。

(2) 実施した内容

小規模事業者の事業計画作成支援を目標として、10月に2回セミナーを開催した。内容については、事業計画作成の意義・必要性、その活用方法などを中心に行い2日間で23名の参加があった。また、セミナー終了後は、セミナー参加事業者に対して経営指導員と中小企業診断士が個別訪問を行い、事業計画作成支援を行った。なお、事業計画作成支援については「経営計画つくるくん」を活用することで、事業者自身が継続的に事業計画に取り組めるよう支援を行った。

(3) 目標及び実績

	H28 目標	H28 実績	H28 評価	H29 目標	備考
事業計画作成セミナー	2 回	2 回	A	2 回	・事業計画づくりの必要性 支援ツール「つくるくん」の紹介 ・売上アップ支援セミナーの開催
事業計画策定事業者数	50 者	36 者	C	60 者	経営革新2件、経営力向上計画3件 持続化補助金28件、ものづくり補助金3件
しゃもじん創業塾参加者数	30 人	26 人	B	30 人	創業塾の開催（全5回）
創業支援数	60 者	43 者	C	60 者	窓口相談含む
創業者数	4 者	6 者	A	5 者	理美容2者、飲食1者、小売1者 サービス2者
廿日市産業関連強化塾	1 回	1 回	A	1 回	廿日市市主催事業に協力

4. 経営計画策定後の実施支援に関すること

(1) 目的

本件については、本年度が初年度となりフォローアップは3年後240件、及びそれに伴い計画実施のための資金需要対応でマル経の推薦件数50件を目指す。

(2) 実施の内容

従来の持続化補助金申請等で計画策定した事業者を対象にフォローアップを実施した。また、計画実行にあたっての資金調達の必要性のある場合にはマル経を推薦した。

(3) 目標及び実績

	H28 目標	H28 実績	H28 評価	H29 目標	備考
フォローアップ件数	200件	190件	B	240件	事業計画策定支援3回×36者 マル経推薦件数2回×41者 セミナー参加者へのフォロー
マル経推薦件数	50件	41件	B	50件	

5. 需要動向調査に関すること

(1) 目的

小規模事業者にあっては時としてマーケットのニーズ調査が不十分で、本当に顧客が求めているものを提供できていない場合もある。そこで顧客が何を必要としているのか、市場（マーケット）のニーズがどこにあるのかを知るために需要動向調査を行い、販路拡大の資料としての活用を図る。

(2) 実施の内容

事業者の肌感覚での消費動向を調査するため、巡回訪問時にそれぞれの事業所における顧客の声についてヒアリングを行った。

また、町内消費者の動向を調査するため、消費傾向・動向調査を平成29年1月～2月にかけて実施した。市内企業で働いている方、町内会連合会に協力いただき市内住民を対象に、配布内数1,657部、うち回収数483枚であった。

(3) 目標及び実績

	H28 目標	H28 実績	H28 評価	H29 目標	備考
巡回におけるヒアリング	100件	87件	B	150件	経営巡回相談
消費者アンケート実施数	1回	1回	A	1回	
消費者アンケート回収数	100件	483件	A	500件	会員事業所従業員及び町内会に依頼

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

(1) 目的

需要調査で消費者ニーズを把握した商品・サービスについて、販路開拓・販路拡大の機会を提供することで競争力強化、売上拡大へつなげていく。

(2) 実施の内容

広島ゆめプラザでの廿日市フェアを開催し、24 事業所の参加

(3) 目標及び実績

	H28 目標	H28 実績	H28 評価	H29 目標	備考
ビジネスマッチングフェアへの参加	2 者	0 者	D	2 者	
広島ゆめプラザ (廿日市フェア)	30 者	24 者	B	30 者	廿日市フェアの実施 1 回
〃 (店舗常設)	12 者	12 者	A	13 者	
ホームページへの掲載	65 者	85 者	A	100 者	グルメ情報「はつめし」への掲載
産学官連携	1 件	0 者	D	1 者	

7. 地域経済の活性化に対する取り組み

(1) 目的

商工会議所が実施する地域の活性化は単純に集客のためのイベントを実施することではなく、その地域で経済活動をしている個社の基盤を支えるものでなければならない。そのため、地域の新しい価値の発見や創造、知名度アップなどを目的として事業を実施し、賑わいを創出することで交流人口の拡大を図り地域全体の活性化を目指す。

(2) 目標と実績

	H28 目標	H28 実績	H28 評価	H29 目標	備考
まちゼミ講座数	35 講座	28 講座	B	35 講座	駅通り、佐方商店街を中心に実施
まちゼミ参加人数	175 人	121 人	C	175 人	
けん玉ワールドカップ 来場者	50,000 人	51,000 人	A	50,000 人	
宮島国際パワートライアスロン大会観客数	70,000 人	70,000 人	A	70,000 人	

8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換移管すること

(1) 取組方針

従来、当商工会議所においては他の支援機関との連携というのは、定期的な情報交換会が中心であった。しかしながら、それだけでは本経営発達支援事業を実施していくことは困難であるため、今後は他の支援機関との連携を通じ、他の支援機関が保有しているより高度な支援ノウハウを獲得していく。

(2) 実施の内容

① 廿日市市産業共創会議

廿日市市、佐伯商工会、大野町商工会、宮島町商工会、廿日市商工会議所 等
支援制度の説明会の実施

② 中小企業基盤整備機構やよろず支援拠点等の支援ノウハウを活用

中小企業基盤整備機構の「経営計画つくるくん」についての操作デモを実施し、事業計画作成支援において活用した。

③ 小規模事業研究会に参加し、日本商工会議所担当者、県内商工会議所との情報交換を行った。

9. 経営指導員等の資質向上に関すること

(1) 取組方針

当商工会議所において、経営指導員等の資質向上は税務・金融・労務などの従来型の経営改善普及事業に関するものが中心であった。しかしながら、今後本経営発達支援事業推進においては、事業計画策定支援能力をはじめ実体経営における売上拡大及び利益確保に貢献できる、知識・経験・ノウハウが必要とするため、これらの分野の資質向上に積極的に取り組んでいく。

(2) 実施内容

① 研修会への参加

県内経営指導員研修会への参加
中小企業大学校での研修参加

② 専門家とのチームによる OJT

事業計画作成においてヒアリングから計画作成に至るまで、中小企業診断士と支援を行うことで現場学習を行った。

③ 組織としての支援ノウハウ構築

平成 28 年 9 月より月 1 回中小企業診断士を交え、情報交換を行った。